

梅雨時期の農作物技術対策について

令和3年5月25日
福井県農業総合指導推進会議

気象台の1ヵ月予報によると、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込みであり、農作物の生育等への影響が懸念されますので、適切な対策をお願いします。

○対策のポイント

- 1 水稲は、いもち病の発生有無を確認し、発生した場合は直ちに薬剤防除を行う。
- 2 麦・大豆は、天候に留意しながら、適期作業（収穫、耕起・は種）を行う。
- 3 野菜・果樹・花きは、排水溝や明渠の掃除、手直し等により圃場やハウスの排水を促すとともに、雨の切れ間をみて、薬剤防除を行う。

1 水稲

- ・いもち病の発生源となる補植苗は必ず除去する。
- ・いもち病の発生を確認した場合は、直ちに薬剤を散布する。

2 麦・大豆・野菜・果樹・花き 【共通対策】

- ・明渠は排水口とつながっているか確認し、必要に応じて手直しを行う等、圃場排水に努める。
- ・ハウス内に水が侵入した場合、排水ポンプ等で速やかに排水を行うとともに、換気を十分に行い土壌の乾燥を図る。
- ・マルチを行なっている畝が冠水した場合は、マルチをはいだり、畝肩の部分までめくりあげたりして、畝の乾燥を促す。

3 麦

- ・気象予報に留意し、計画的に適期収穫を行う。
- ・赤かび病が発生した麦や倒伏した麦は、別刈りする。

4 大豆

- ・圃場の排水溝が大麥の収穫等で壊れた場合は早期に手直しをする。
- ・気象予報に留意し、計画的には種を行う。

5 野菜

- ・気象予報に留意し、降雨前や雨の切れ間をみて、予防防除を徹底する。
- ・スイカ等は果実シートを敷いて、果実の下に水が溜まらないようにする。

作目ごとに懸念される病気は以下のとおり。

作目	発生が懸念される病気
ネギ	軟腐病、さび病
トマト	青枯病、葉かび病、灰色かび病
スイカ、メロン	炭疽病、つる枯病
タマネギ	べと病、灰色腐敗病
ブロッコリー	軟腐病、黒腐病

6 果樹

- ・気象予報に留意し、降雨前や雨の切れ間をみて、予防防除を徹底する。
- ・ナシの黒星病が発生した場合は、罹病果実を園外に持ち出し処分する。

作目ごとに懸念される病気は以下のとおり。

作目	発生が懸念される病気
ウメ	すす病、黒星病
ナシ	黒星病
ブドウ	うどんこ病

7 花き

- ・気象予報に留意し、降雨前や雨の切れ間をみて、予防防除を徹底する。
- ・薬剤のローテーションを徹底する。
- ・キクでは下葉かきを行い、雨滴の跳ね上がりによる病害のまん延を予防する。

作目ごとに懸念される病気は以下のとおり。

作目	発生が懸念される病気
キク	白さび病、べと病
トルコギキョウ	フザリウム立枯病、灰色かび病、菌核病、炭そ病
ヒマワリ	べと病、黒斑病、菌核病